

令和6年度 公益財団法人黒部市体育協会事業報告

本協会は、スポーツの普及並びに振興に関する事業を行い、市民の健康増進と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明朗で活発なスポーツ文化の振興に寄与することを目的として次の諸事業を展開した。

I 法人運営について

1. 諸会議等の開催

事業の適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名		回数	期 日	書面表決
評議員会		1回	令和6年 6月 7日(金)	
		2回	〃 12月19日(木)	
理事会		1回	令和6年 5月 2日(木)	
		2回	〃 6月 7日(金)	
		3回	〃 8月 9日(金)	
		4回	〃 11月29日(金)	
		5回	〃 12月10日(火)	
		6回	令和7年 3月24日(月)	
専門部会	総務部会	1回	令和6年 4月26日(金)	
		2回	〃 11月22日(金)	
	広報・調査部会	1回	令和6年 12月10日(火)	
	施設運営部会	1回	令和6年 11月18日(月)	
	スポーツ推進部会	1回	令和6年 10月31日(木)	

2. 体育、スポーツ関係者の表彰について

多年にわたり本市のスポーツの向上に貢献し、その功績が顕著と認められる者やスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体または個人に表彰を行った。

表彰名	対象者	
スポーツ功労者表彰	加盟団体元会長等	個人5名
スポーツ成績優秀者表彰	全国大会優勝等	個人11名
スポーツ成績優秀団体表彰		3団体

II 公益目的事業について

1. 市民の生涯スポーツの振興並びに健康増進及び体力の向上を図るための情報提供・調査及び研究に関すること

本市は平成20年に「スポーツ健康都市」を宣言し「市民ひとり1スポーツ」を合い言葉に「スポーツを通じて、健康で活力に満ちた人づくり・魅力あるまちづくり」を目指しており、その旨を共有し様々な大会及び教室事業、啓発事業を実施した。

また、市民のスポーツ活動報告、行事予定、施設情報など、スポーツに関する情報を幅広く市民に伝え、市民がスポーツに興味関心を持ち、スポーツ実践意欲や健康増進・体力の向上意欲の向上を図った。

更に、市民ニーズの把握に努め今後のスポーツ振興策への反映を図った。

[1]「市民ひとり1スポーツ」の環境づくり

《1》カーター記念黒部名水マラソンの開催

5月25日(土)・26日(日)、老若男女を問わず誰でも気軽に参加できるマラソン大会を下記により開催した。

第41回カーター記念黒部名水マラソン

参加者数	8,756名
フルマラソン	5,470名
10km	2,036名
車いす	11名
5km	330名
2.5km	652名
ジョギング	257名

大会運営ボランティア数  
給水係、発着管理係、コース整理員  
駐車場係など 約2,700名

《2》KUROBEスポーツファミリー事業（総合型地域スポーツクラブ）

黒部市総合体育センターを拠点施設に、誰でも気軽に運動できる環境づくりを目指し総合型地域スポーツクラブ型の教室事業を実施。参加者、指導者、地域代表らによる推進委員会を開催し、市民ニーズに即した教室を開催した。

令和6年度実績                      別紙のとおり

《3》ジュニアスイミングスクール事業

施設の有効活用と小学生を対象とした体力の向上と団体行動の規律を身につけることを目的に水泳教室を実施した。

令和6年度実績                      別紙のとおり

《4》運動教室（幼児・高齢者等）の拡充

幼児・高齢者への運動する機会を提供し、継続的に運動する習慣づくりを目的として各種教室を実施した。

令和6年度実績                      別紙のとおり

《5》スポーツ科学的運動指導の環境づくり

それぞれの運動目的に合わせ、日ス協公認のスポーツプログラマーやNSCA有資格者による運動プログラムの作成・指導・補助を行った。

指導員は、各団体が主催する研修会に参加し、新たな指導方法を学び実践した。

[2]スポーツ情報の収集と発信並びに市民ニーズの把握

《1》最新の情報発信とスポーツ健康都市のPR

広報・調査部会を開催し、市民に広くスポーツに関する情報、活動の報告を行った。

情報発信方法	発行部数 (回数)	対象	主な内容
広報誌「体協だより」の発刊	12,450部 (年6回)	市内全世帯への配布	・市民のスポーツ活動報告 ・行事予定 ・表彰受賞者
インターネットへの情報掲載	随時更新	全般	・情報公開 ・団体紹介 ・市内体育施設の概要 ・大会の情報、大会結果
施設だよりの発刊	700部 (年12回)	施設利用者 市内小学校等への配布	・大会情報 ・施設の予約状況
他の機関が発行する機関紙、情報誌への情報提供 (市報、情報誌など)	随時	市民	・行事案内、大会情報
館内掲示(モニターの活用)	随時更新	施設利用者	・大会情報 ・施設の予約状況
Instagramの開設	随時更新	全般	・大会情報 ・施設の状況

《2》市民ニーズ、運動実践状態の把握と対応

専門部会等の各種会議において、市民の活動状況や課題等の情報の収集に努めた。

2. スポーツ行事の企画並びに運営に関すること

「市民ひとり1スポーツ」を推進するにあたりスポーツに親しみ、体験できる環境づくりに努めた。

また、スポーツを通じて地域の活性化を図ることを目的とし、様々なイベントの企画並びに各種大会等の啓発事業を実施した。

[1]スポーツ交流と観光との連携

《1》交流会、イベントの開催誘致

スポーツに親しみ交流の輪を広めスポーツ実践意欲を高めた。また、スポーツ交流人口の拡充を図ることを目的に各種イベントを企画した。

事業名	参加者数	内 容 等
エブリバディスポーツデイ2024	9,200人	体験型コーナーの設置(大型遊具、ニュースポーツ、カヌー等)や大抽選会等
チャレンジウオーク (KUROBEの自然散策 春の部)	61名	黒部市総合体育センターから宇奈月温泉を目指す春のウォーキングイベント
黒部市民スキー競技大会	59名	宇奈月温泉スキー場で市民が集いタイムを競い合う
親子スキー教室	54名	スキーの基礎を教えるとともに身体を動かす楽しさを伝える

《2》スポーツと観光のタイアップ

全国大会や北信越大会を誘致し、来市される方々へ黒部市の観光資源の魅力をPRし、スポーツを通じて交流人口の拡大に努めた。

大会・イベント名	会 場	来場者数
くろべフェア2024	黒部市総合体育センター 黒部市総合公園	8,000人
黒部カップU12バスケットボール大会	黒部市総合体育センター	2,600人
黒部カップU15バスケットボール大会	黒部市総合体育センター	900人
日本空手道連合会 北信越地区空手道選手権大会	黒部市総合体育センター	1,000人
黒部名水バレーボール大会	黒部市総合体育センター	260人

《3》各種大会等の開催、誘致、協力

スポーツ交流人口の拡大を目的に、市内のスポーツ施設を活用した大会を積極的に誘致し、運営等において協力した。

大会名等	会 場	来場者数
平野早矢香さん講演会&卓球教室	黒部市総合体育センター	380人

《4》プロスポーツ大会の誘致

プロ等によるトップレベルの競技会などを身近で観ることができる環境を整備し、スポーツ人口の拡大を図ることを目的に、各種大会の誘致・開催協力をした。

大会名	会 場	開催日数	来場者数
全日本プロレス	黒部市総合体育センター	1日	852人

[2]黒部市体育協会設立70年記念事業の実施

令和7年3月15日、黒部市総合体育センターにおいて、体育協会設立70年記念式典及び特別講演会並びに祝賀会を開催した。

《1》記念式典

本協会並びに加盟団体の役員として、長年活動に尽力された25名に感謝状を贈呈した。また、令和7年4月1日付での本協会の名称変更と、新しいシンボルマークを発表し今後のさらなる前進を誓った。

感謝状	対象者
役員40年以上	2名
役員30年以上	7名
役員20年以上	16名

《2》特別講演会

福岡ソフトバンクホークス元監督の工藤公康氏を招き、「未来をひらく思考と行動」と題して講演会を開催した。市内スポーツ少年団員や市内外からの参加者400名が傾聴した。

《3》記念誌の発刊

本協会設立70年を記念して「スポーツ黒部のあゆみ」(集約期間:平成27年～令和6年)を発刊した。

3. 体育、スポーツ団体の育成と相互の連絡に関すること

加盟団体との連携を図り、組織の育成と相互の連携を図る。

[1]組織の強化と財政基盤の強化

《1》加盟団体の連携と事務局強化

①地区体育協会の推進

地域の方々の身近なスポーツを推進する16地区体育協会(加盟団体)の活動の支援を行った。

事業名	参加地域	開催日数	参加者数
黒部市民体育大会	16地区 (市内全地区)	3日	1,229人(延べ)
区民体育大会	15地区	1日	約3,000人
黒部市駅伝競走大会 たすき☆ロードリレー	各地区 各クラブチーム	1日	52名

②競技協会の推進

地域の方々の身近なスポーツを推進する24競技協会(加盟団体)の活動を支援を行った。  
市内全域を対象とした各種大会を開催するなど、市民のスポーツ交流を図った。

③事務局強化

加盟団体との連携を図る上で、連絡調整を行う組織体制、人員体制を図った。

《2》スポーツ少年団、クラブチームの育成事業

児童生徒のスポーツ環境の整備を目的にスポーツ少年団本部を本協会事務局に置き、各種大会、研修会等の連絡調整を図るなど、活動の支援を行った。

年度	団体数	所属人数	主な活動
令和6年度	30団体	905人	野球・サッカー・バスケットボール・陸上など

大会名	競技数	参加者数	内 容
市スポーツ少年団 競技別交流大会	3競技	204人	野球・サッカー・バレーボール
市ジュニア大会	1競技	92人	卓球

4. 体育、スポーツ指導者の養成と研修に関すること

市内スポーツ指導者の資質の向上を図ることを目的に研修会等を開催し、競技力向上、生涯スポーツの推進など様々な分野で積極的な参加を促した。併せて、有資格指導者の増員と指導機会の拡充を図った。

[1]指導者の育成と指導機会拡充の環境づくり

《1》指導者研修会の実施

指導者の資質の向上を図ることを目的に各種研修会を開催した。体育指導者研修会については、指導者の資格更新が可能なカリキュラムを取り入れ充実した内容となった。

事業名	回数	受講者	主な内容
体育指導者研修会	年1回	35名	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者更新研修
AED講習会	年1回	21名	普通救命Ⅰ講習会 講師－黒部消防署員、黒部市体育協会職員

《2》指導者資格取得助成制度による有資格者の増員

市民のスポーツニーズが多様化する中、専門性を持った指導者の養成が望まれている。各種スポーツの教室や競技指導等を行う指導者の増員を図るため、新たな指導者資格取得者に助成金を交付するなど資格取得意欲を向上させた。

《3》指導員派遣による運動教室等の実施

市内団体や企業等からの健康増進、体力の向上を目的とした指導員派遣要望に対し、有資格指導員の派遣を行った。

令和6年度実績                      別紙のとおり

5. 競技力の向上に関すること

全国で活躍する選手を育成するため、長期的なプランを検討しジュニア層の底辺拡大並びに強化に努めた。

[1] 全国で活躍する選手育成の環境づくり

《1》ジュニア層の育成と強化支援

競技力向上を図る上で、競技人口の拡大と指導者の育成等の環境が大きな役割を果たすと考えられるため、幼少の頃からスポーツに携わる環境を整備した。

また、全国大会等へ出場する選手、県大会で優秀な成績を修めた競技協会へ更なる強化支援として強化費を支給した。

- ①運動あそび教室－幼児を対象に実施し運動基礎能力の向上を図る事業  
    (年長)・実施回数(Ⅰ期)              24回 ・延べ参加人数    239名  
          ・実施回数(Ⅱ期)              24回 ・延べ参加人数    337名  
    (年中)・実施回数                      12回 ・延べ参加人数    217名
- ②ちびっこ教室－小学1～3年生を対象に多様なスポーツを体験し興味関心を高める事業  
    ・種目数 12種目 ・実施回数 96回 ・延べ参加人数 2,130人
- ③わんぱく教室－小学4～6年生を対象に多様なスポーツを体験し興味関心を高める事業  
    ・種目数 6種目 ・実施回数 36回 ・延べ参加人数 796人
- ④ちびっこ・わんぱく教室(合同)  
    ・種目数 8種目 ・実施回数 64回 ・延べ参加人数 929人
- ⑤スポーツ少年団・クラブチーム－競技種目を選択し定期的な運動ができる団体  
    ・15種目 30団体
- ⑥指導者育成－指導者の有資格化を図り資質の向上を図る  
    ・体育指導者研修会年1回 ・参加者35名
- ⑦運動環境の整備－活動場所の確保として施設等の利用の配慮を行う  
    ・活動場所について、年間を通じて活動できるよう施設の事前予約を受け付けた。

《2》マラソン、駅伝のまちづくり

マラソン、駅伝を象徴的なスポーツ推進策とし、まちづくりとともに発展させる。各自の目的にあった運動実践が可能となるよう、市民ニーズに対応した環境整備を図った。

事業名	主な内容
黒部名水マラソン	市民マラソン大会 参加者、スタッフ、応援など参画意欲の向上を図り、市民協働による大会運営を行った
市駅伝競走大会 たすき☆ロードリレー	市競技協会主催事業への協力 地元チームの参加を促し、市民のスポーツへの興味関心を高める

《3》地域部活動及びクラブ設立に向けた支援協力

競技協会及び個人団体を主体としたクラブに対し補助を行い、中学生の競技力向上と活動しやすい環境づくりに努めた。

(加盟クラブ)

クラブ名	競技種目
BC・KUROBE	バスケットボール
アクアジュニア	バレーボール
黒部ジュニアバドミントン教室	バドミントン
Kurobe・ドリームズ	硬式野球
黒部スイミングクラブ	水泳
ソフトテニスクラブ 黒部ユース	ソフトテニス
黒部ジュニアアーチェリークラブ	アーチェリー
ニューリバーソフトボールクラブ	ソフトボール

(その他クラブ)

クラブ名	競技種目
黒部ジュニアスキークラブ	スキー
Kurobe・FC	サッカー
KUROBEレスリングクラブ	レスリング
黒部ジュニア柔道クラブ	柔道
黒部アクアアスリート	陸上

6. スポーツ施設等の管理運営に関すること

市民のだれもが安全で、かつ公正な利用ができるスポーツ環境を整え、市民の健康増進と体力の向上に寄与できる効率的な管理運営を行った。利用者ニーズに対応できる体制を整え、利用者の満足度の向上とスポーツ実施人口の拡大に努めた。

[1]スポーツ施設の利用促進と管理運営

《1》指定管理施設の管理運営

総合体育センター及び総合公園の管理運営において利用促進を図る中、LED照明工事(9月～3月上旬)により総合体育センターメインアリーナが利用休止となった。その影響で各種大会イベント等が開催できない状況となり、利用者数・利用収入が減少した。

そのような中においても、効率的な管理運営を実践するとともに、利用者ニーズの把握(12月アンケート実施)に努め、利用者の満足度を向上し利用促進を図った。また、定期的な団体利用調整会、年間計画を立てるカレンダー会議を開催するなど、市民が公平に利用できるよう配慮した。

施設名	利用者人数	利用料収入
市総合体育センター	189,513人	19,328,155円
市総合公園	219,013人	27,595円

《2》市内スポーツ施設の利用促進

スポーツ施設管理業務とソフト事業を一体的に推進し、スポーツ実施率の向上、スポーツ交流人口の拡充を図った。

事業名	使用施設	参加者数	主な内容
温水プールゆうえんちデイ &キッズパーク	市総合体育センター (温水プール)	323人	水遊びを通してプールの楽しさを 知ってもらう
脂肪燃焼プログラム	市総合体育センター (トレーニング室)	622人 毎日	30分間の脂肪燃焼運動プログラム を有資格指導員が指導する
美ボディエクササイズ	市総合体育センター (トレーニング室)	52人 月2回	約45分間のピラティス系運動指導 プログラムを有資格指導員が指導 する
貯筋エクササイズ	市総合体育センター (トレーニング室)	64人 月2回	約45分間の筋力系運動指導プログ ラムを有資格指導員が指導する

事業名	使用施設	参加者数	主な内容
InBody測定	市総合体育センター (トレーニング室)	545人	筋肉量など身体バランス測定を行い運動の意識づけを図る
トレーニング室利用促進事業	市総合体育センター (トレーニング室)	845人	年2回の企画としてトレーニング室利用者にスタンプカードを発行
温水プール利用促進事業	市総合体育センター (温水プール)	1,544人	夏休み・冬休み企画として利用者スタンプカードを発行
ジュニアスイミングスクールフェスティバル	市総合体育センター (温水プール)	57人	日頃の練習の成果を発揮すると共に、レクリエーションを通してコーチや仲間と交流を図る
夏期集中水泳教室	市総合体育センター (温水プール)	54人	夏休みを利用して水泳の上達を図る
夏期親子水泳教室	市総合体育センター (温水プール)	15組	親子でスキンシップをとりながら水泳の良さを知る
冬期水泳教室	市総合体育センター (温水プール)	15人	水慣れから水泳の楽しさを体験

### Ⅲ 収益目的事業について

本協会が管理運営する市総合体育センターに利用者の利便性を図るため、スポーツ用品(水着 ラインテープなど)の販売物を設置し提供した。

また、利用者への利便性のためコピー・印刷などができる環境とした。